

「阿蘇市人権・同和教育推進協議会」総会

5月18日、阿蘇いこいの村において平成22年度阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会が約160人の参加者のもと開催されました。

同協議会は、行政、企業関係、学校関係者など118団体で構成されており、同和問題をはじめとするあらゆる差別の解決、人権意識の普及高揚のため、連携して教育・啓発活動に取り組んでいます。

当日の総会では、平成21年度事業及び決算、平成22年度事業計画及び予算等が承認され、総会終了後には、人権啓発映画上映による研修会も実施されました。



母子家庭の先輩後輩ネットワーク



阿蘇市母子寡婦福祉会の平成22年度総会が6月20日、保健福祉センターで開催され41名が参加しました。母子寡婦会は長年活動している伝統ある組織で、日頃忙しいお母さんたちですが、時おり集まるなどして、悩みの解消、生活・子育て面でのアドバイス、また、福祉支援の情報提供など、一人で抱え込まない体制づくりを目的とした組織です。総会では波多野洋子会長が「母親は元気がいることが一番。今年度も体に気をつけて頑張りましょう」と挨拶され、今年度の活動内容が報告されたほか、江藤阿蘇市市民部長による医療福祉についての講演が行われました。

※母子寡婦福祉会では、会員を募集しています！ 詳しくは ☎ 22-3301 までお問い合わせください。

「人権について語り合おう」



お父さんと草切りをしたこと
 中通小学校 2年(現3年)
 山べ ゆう花

昨年度の阿蘇市人権作文集『かけはし』の作品の中から一部を紹介いたします。

この前、おとうさんが、
 「ゆう花とたいいき、家の前の
 草を切るのを手つだって。」
 と言いました。わたしとたい
 きにいちやんは
 「わかった、やる。」
 と言いました。おとうさんは、
 かりばらいきをもってきました。
 わたしとたいいきにいちやんは、
 けいトラの近くから竹のほう
 きをもってきました。おとう
 さんが、
 「ゆう花とたいいきは、竹のほ
 うきで、おとうさんが切つ
 たうしろばあつめなっせ。」
 と言いました。わたしたちは、
 大きな声で、
 「わかった。」
 と言いました。

おとうさんは家の前で草を
 切つて、わたしたちは竹のほ
 うきで草をあつめました。わ
 たしとたいいきにちやんは、だ
 まつてやりました。前でおと
 うさんのかりばらいきのブー
 ンという音が聞こえました。
 おとうさんは、青いさぎよう
 ぎをきていました。長ぐつをは
 いて、ぐん手をはめていました。
 一時間ぐらいしたら、うで
 がいたくなりました。わたし
 とたいいきにいちやんが、
 「きついね。」
 と言つて、草の上ですわりまし
 た。そしたらおとうさんがきて、
 「コーヒーと、ジュースを二
 本かつてきて。」
 と言いました。お金をくれま
 した。わたしとたいいきにいちや
 んは、にっこりして近くの自動
 はんばいきに行つて買いました。
 そして三人で、草の上にいっ
 しょにすわりました。たいいき
 にいちやんが、
 「きついね。」
 と言いました。わたしも、
 「うん、きついね。」
 と言いました。でもおとうさん
 はだまつてわらつただけでした。
 それから、三人で、切つた
 草をあつめました。やつとお
 わつたとき、おとうさんが、
 「ありがとう。二人が手つだつ
 たけん、早くおわつた。」
 とにこにこして言いました。
 わたしにもこつとしました。

平成二十一年度
 阿蘇市人権作文集
 「かけはし」より